



ことばと文化にみる アイヌ民族の歴史

自らは文字表記をしなかったアイヌ民族の歴史は口承で伝えられてきました。和人による史料を用いた歴史学、考古学もアイヌ民族の歴史を探る上で役立ちます。一方で、アイヌ語・アイヌ伝統文化からアイヌ民族の歴史を探る試みも知里真志保をはじめとする多くの研究者によって進められてきました。

アイヌ語と他の言語の間の借用語（共通語彙）、叙事詩その他の口承文学にみられるユーラシア大陸との共通性、歌謡や音楽文化の形式などに反映された諸民族との接触の歴史について、最近の研究成果を中心にお話します。

令和3年(2021年)

2月15日(月)

午後2時～4時

場 所

かでの2・7ビル7階710号会議室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

受講料

保護協会会員 無料
非会員 700円

申込み

(一財)北海道文化財保護協会
電話・Fax 011-271-4220
E-mail

bunho@abelia.ocn.ne.jp

講師

北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授

丹菊 逸治 氏

北海道室蘭栄高校卒業。東京大学仏語仏文学科卒業。
千葉大学大学院博士課程単位取得退学、同大学文学博士。
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
研究員を経て2011年より北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授。
専門はアイヌ語・アイヌ文学、ニヴフ語ニヴフ文学、言語文化・口承文芸論



令和2年度 第3回 文化財講演会参加申込書 (令和3年2月15日)

氏名	住所	TEL・FAX	Eメール アドレス	会員区分
				()会員 ()一般

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の必要に応じて、保健所などの公的機関へ提供させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※個人情報保護法に基づき、お預りした個人情報については、(一財)北海道文化財保護協会にて厳重に管理し、上記・当該講演会の開催以外の目的には使用いたしません。

【新型コロナウイルス感染防止対策について】

◎「道民活動センター新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」を遵守するとともに、「新北海道スタイル」に取り組んでいます。

参加に当たっては、以下の事項をご了承くださいますようお願いいたします。

- 次に該当する方は入館できません。
 - ・マスクを着用していない方(着用していない場合は、近隣の店舗または総合案内で購入してください。)
 - ・来館前に検温を実施し「37.5度以上の発熱」がある方(かでのビル入口でサーモグラフィ装置による入館者の発熱状況を監視しています。)
 - ・「息苦しさや強いだるさ等の体調不良」がある方
- *発熱や体調不良がある方は、参加を自粛してください。
- かでのビル入館後、入口での手指の消毒や手洗いをお願いします。
- 咳エチケットに心がけてください。
- 定員は、参加者が密集しないよう申込順に40名とします。会場は指定した席以外の着席は認めません。
- 申し込みは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緊急連絡先も兼ねていますので、申込書により郵送・FAX等でお申し込みください。また、申込書の記載事項の連絡により電話・メール等でも受け付けます。
- 資料等は手渡しで渡す行為は避け、まえもって座席に配付します。
- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 今後の感染状況により、開催を延期または中止する場合があります。

会場地図



- ・JR札幌駅南口：徒歩13分
- ・地下鉄
 - さっぽろ駅(10番出口)：徒歩9分
 - 大通駅(2番出口)：徒歩11分
 - 西11丁目駅(4番出口)：徒歩11分
- ・JRバス北1条西7丁目(停留所)：徒歩4分
- ・中央バス北1条西7丁目(停留所)：徒歩4分
- ・公共地下歩道
(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください)1番出口：徒歩4分